

演題番号25	清潔ケアに対する介入が困難であった認知症患者の看護 ～カレンダー，1日の予定表を活用して～
発表者	公立世羅中央病院 看護師 妹尾 梨花
共同発表者	西川 博美

わが国では、他国にみないスピードで高齢化社会を迎えている。認知症高齢者の増加は避けられず、認知症高齢者ケアの質向上が重要な課題である。今回、認知症のある骨盤骨折の患者A氏を受け持った。拒否や暴言が強く、清潔ケアの介入が困難であった為、認知症看護認定看護師や理学療法士と相談し、チームカンファレンスを行った。A氏の残存機能に着目した介入を検討し、塗り絵カレンダー、予定表、パッド交換時間表を作成し、予定表に沿って清潔介入を行うことで、拒否の軽減に繋がった。認知症の症状だけに着目するのではなく、A氏という一人の患者を理解し、残存機能を生かしたケア方法を考え実践することでBPSDの緩和に繋がることが学べた。

MEMO
